

那覇空港滑走路増設事業の概要



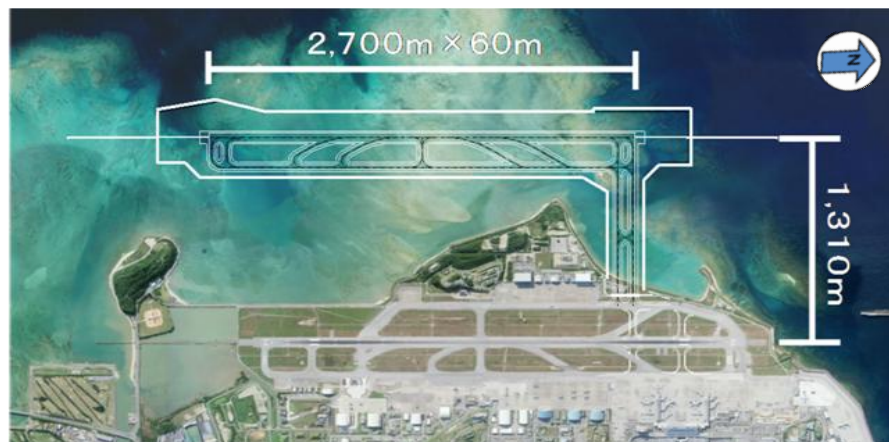
平成27年1月28日

沖縄総合事務局 開発建設部

○ 現況

- ・滑走路：3,000m
- ・旅客実績：（国内）1,521万人、（国際）100万人
（平成25年度、過去最高）
- ・主要路線：（国内）103往復/日
（平成27年1月） 東京(29)、福岡(20)、中部(9)、関西(12)、
成田(6)、石垣(19)、宮古(15)等
（国際）110往復/週
ソウル(39)、台北(33)、香港(18)等
（貨物）74往復/週
成田(10)、上海(6)、香港(6)、広州(3)等
- ・国内LCC就航状況：ジェットスター・ジャパン（成田(3)、関西(2)）
ピーチ・アビエーション（関西(3)、福岡(1)）
バニラエア（成田(2)）

○ 空港整備事業の概要



・総事業費：約1,993億円

○ 平成25年度予算額：137億円（うち国費：130億円）

平成26年度予算額：347億円（うち国費：330億円）

○ スケジュール

平成25年 4月	新規事業化（総理の指示で工期短縮）
9月24日	事業概要の告示（航空法第38条）
平成26年 1月 6日	事業決定の告示（航空法第40条）
1月 9日	公有水面埋立の承認、漁業補償締結
1月中旬	工事の着手
3月 1日	起工式典

[今後の見込み]

平成31年 12月	工事の完了（予定）
平成32年 3月31日	供用開始（予定）

那覇空港位置図



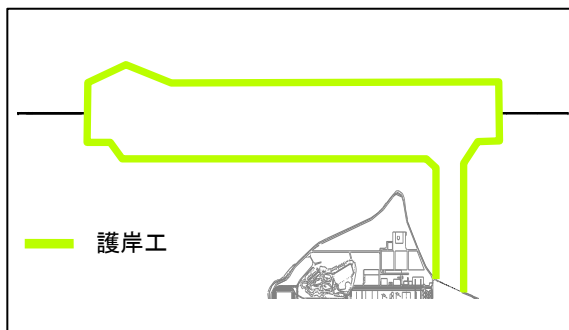
安倍総理大臣による施政方針演説 (H26.1.24)

- ・アジアと日本をつなぐゲートウェイ。それは沖縄です。
- ・アジアとの物流のハブであり、観光客を迎える玄関口として、那覇空港第二滑走路は日本の成長のために不可欠です。予定を前倒し、今月から着工いたしました。工期を短縮し、2019年度末に供用を開始します。

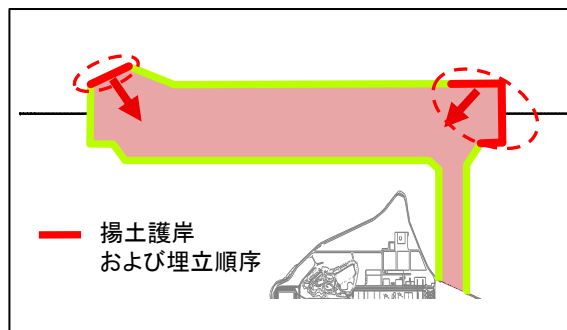
施工計画の概要(その1)

基本的な流れ

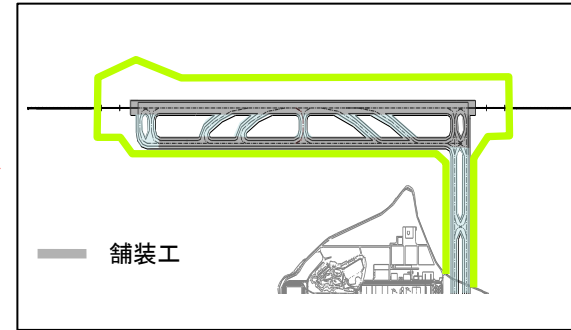
※施工箇所により、進捗の前後があります。



護岸工事



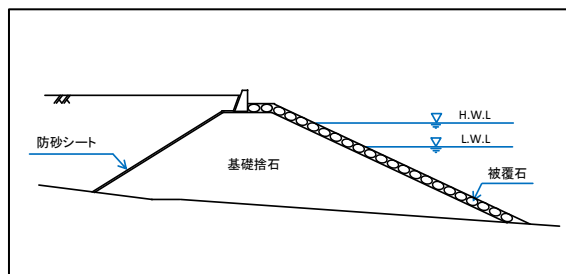
埋立工事



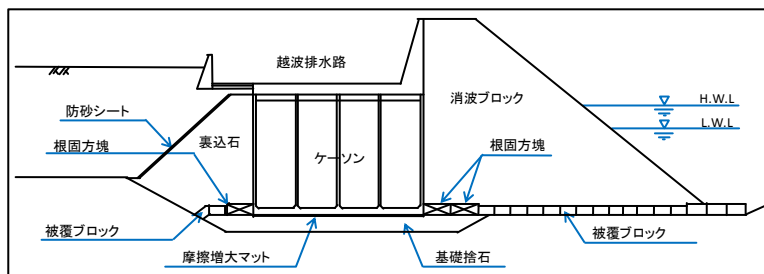
舗装工事・空港施設工

Step1: 護岸工事

・・・護岸を築造し、外周を締め切る



緩傾斜式護岸(水深が浅い場所)



ケーソン式護岸(水深が深い場所)

- ・ケーソン製作 : 約60函
- ・被覆ブロック製作(2~4t型) : 約38,000個
- ・消波ブロック製作(4~50t型) : 約11,000個
- ・根固めブロック製作(5~60t型) : 約1,700個

- ・基礎捨石 : 約170万 m^3
- ・中詰め砂 : 約14万 m^3
- ・裏込め雑石 : 約13万 m^3
- ・海上地盤改良(SCP) : 約3万 m^3

○石材の搬入は海上輸送を基本とする。



緩傾斜護岸施工イメージ

護岸延長
約8.5km

施工計画の概要(その2)

Step2:埋立工事

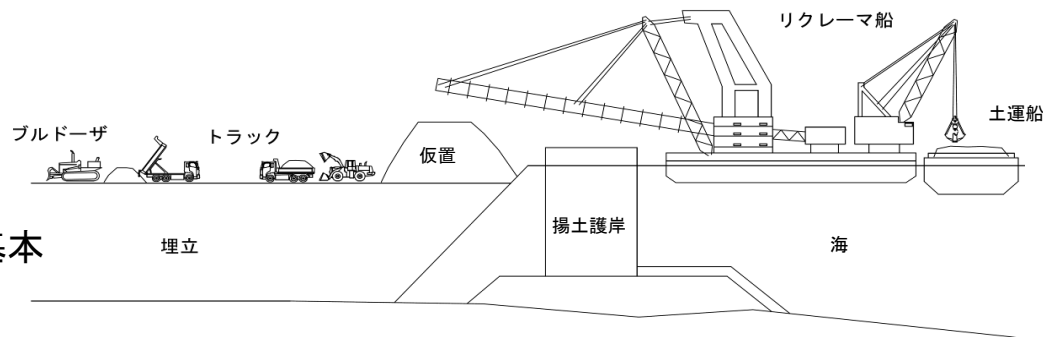
・・・土砂を投入

・埋立土の搬入方法

- ✓ 購入砂・岩ずり・浚渫土 : 海上輸送を基本
- ✓ 建設発生土、空港事業発生土等 : 陸上輸送を基本

・埋立土量の想定・・・合計990万m³

購入砂	岩ずり	建設発生土	浚渫土	空港事業発生土等
380万m ³	430万m ³	120万m ³	30万m ³	30万m ³



埋立工事 施工イメージ

Step3:舗装工事・空港施設工

・・・埋立地上に各施設を設置

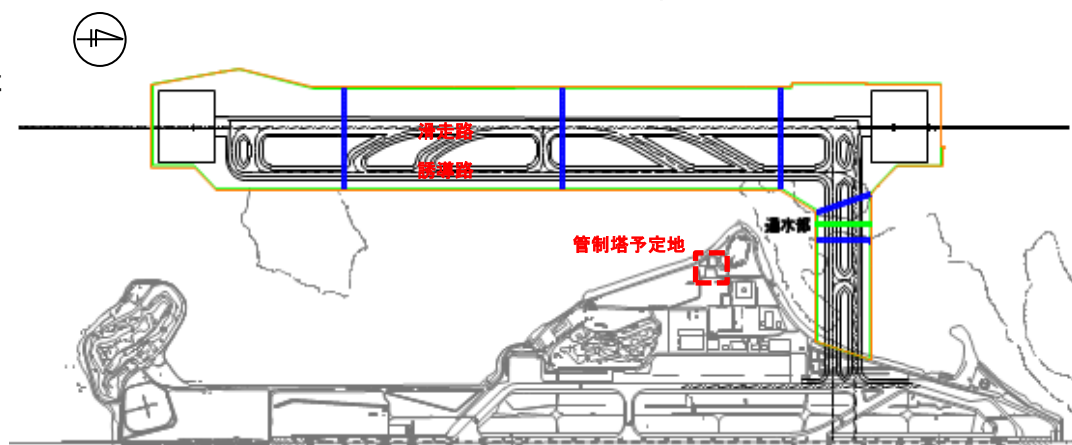
- ・舗装工・・・基本施設【滑走路(2,700m)、着陸帯、誘導路】
- ・航空保安施設・・・ILS(計器着陸装置)、PAR(精測進入レーダー) 進入灯 等
- ・建築工事・・・管制塔(高さ約80mを想定)、消防施設 等



滑走路への進入コースの中心から左右のずれを示すローカライゼ用アンテナ(VHF帯)



適切な進入角を示すグライド・スロープ用アンテナ(UHF帯)



③周辺海域の自然環境への配慮が必要
④空港周辺にはまとまった土取り場が無い



	H25d	H26d	H27d	H28d	H29d	H30d	H31d
護岸工事			VI	III	I, IV	II	V
埋立工事							
舗装工事							
進入灯工事等 (空港施設工)							

那覇空港滑走路増設事業の実施状況(海上工事)



沖縄総合事務局
開発建設部

- 現在は、仮設栈橋の整備や護岸工事を実施中
- 契約状況
 - ・平成25年度 契約済13件
 - ・平成26年度 契約済33件
 - ・地元企業率は約4割
- 護岸8.5kmのうち、約52%は契約済。契約済延長は約4.4km。

<平成26年12月現在>

仮設栈橋1(上空より)



仮設栈橋2工事



浚渫工事



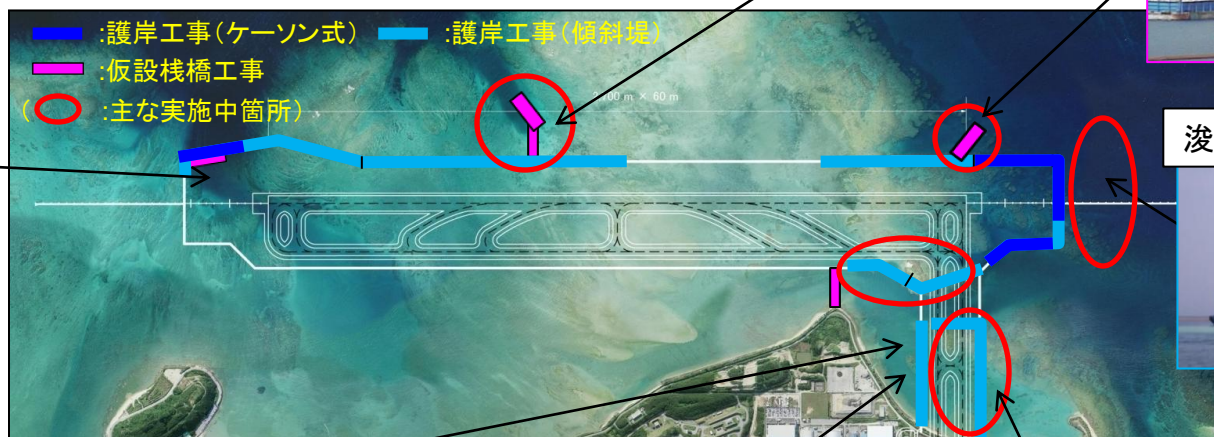
汚濁防止柵



護岸工事(捨石投入)

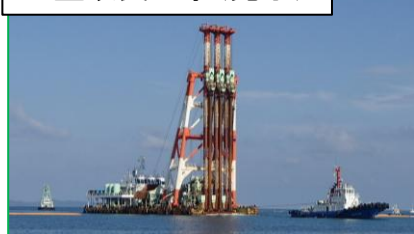


護岸概成状況(上空より)



■ :護岸工事(ケーソン式) ■ :護岸工事(傾斜堤)
■ :仮設栈橋工事
(○ :主な実施中箇所)

地盤改良工事(完了)



護岸工事



那覇空港滑走路増設事業の実施状況(陸上工事)

＜平成26年12月現在＞

- 糸満地区や那覇港新港地区において、護岸工事に用いるケーソンやブロックの製作を実施
- ケーソンは60函製作予定であり、うち12函を平成26年8～9月に、16函を平成27年1月に吊降し

●那覇港新港地区 ケーソン製作ヤード



●糸満地区 ブロック製作ヤード



ブロック製作(近景)



型枠建込



ブロック製作(全景)



ケーソン製作



ケーソン吊降し



本部町塩川地区からの石材積出状況

- 滑走路増設事業に用いる石材は、主に本部町塩川地区から積出している。
- 塩川地区から那覇空港へは、バージ船やガット船と呼ばれる船を利用して輸送。
- 輸送された石材は、護岸工事の捨石等に利用。



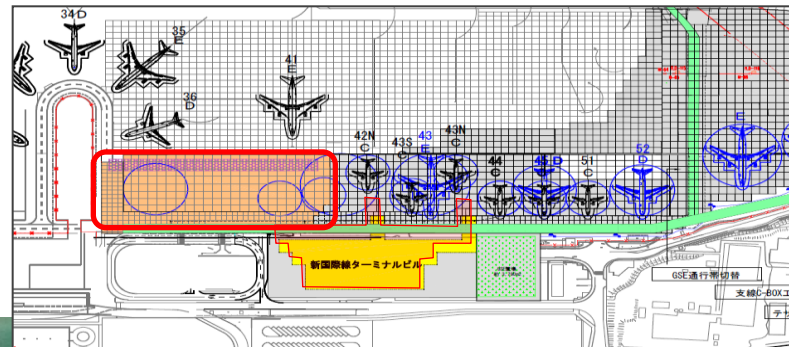
バージ船での積出状況



ガット船での積出状況

那覇空港におけるその他の取組

- 現空港側A平行誘導路(管制塔前付近)において、誘導路改良を実施中
- 平成28年度まで、旧国際線ターミナル地区におけるエプロン拡張等により、駐機スポットを3スポット増設整備。



誘導路改良

旧国際線ターミナル地区におけるエプロン拡張

